



日本環境製造株式会社 鎌田 義雄 社長

「地球環境を守り、産業廃棄物やCO<sub>2</sub>を削減できる型枠」であるという評価と実績をもとに、全国的なネットワークの構築を目指す。

CLOSE UP



E-PANET

東京都羽田空港/ビル新築工事



浦安市/小学校新設工事



東京都豊洲/ビル新築工事



新日鉄のスーパーダイマを採用した鋼製型枠「E-パネット工法」の採用実績が順調に伸び、新時代の型枠工法として業界認知を高めている。「当社が創業以来提唱してきた環境製品、現場認知の主張が受け入れられていることを実感しています」と六年ぶりの取材に日本環境製造株式会社・鎌田義雄社長は製品知名度向上の要因を語る。

ラワンなど南洋材を使う従来の合板型枠工法は、熱帯雨林伐採の二因となり、地球環境問題に対する各国の意識の高まりと共に、輸入枠も減少している。また合板型枠は、コンクリート打設・養生後に取り外し、搬送・保管して数回再利用するのだが、産業廃棄物としての処分が義務付けられているためCO<sub>2</sub>排出の環境問題とも関わってくる。

対して、「E-パネット工法」は、コンクリート打設後そのまま建築物の構造材となるため、養生期間を必要とせず、打設の翌日には埋め戻しが可能となる。またパイプ以外の解体がなく大がかりな重機等も不要で、作業時間も大幅に削減できる。工期短縮が可能となり、省人力性・安全性にも優れている。

「今後増々高齢化によって型枠大工さん

や熟練職人の方たちが少なくなっている業界環境のなか、「E-パネット工法」は熟練の方でなくとも施工でき、女性でも扱うことができるため、現場の職人不足の問題に貢献することができると、現場開発当初から施工現場を想定し、現場の声を大事にしながら改良してきたことも、建設会社からの高い支持を得ることにつながった。

軽量で従来に比して耐力性をもち、錆に強いスーパーダイマを使用しているため、塩害地・多湿地等劣悪な環境でも使用可能となり、工期短縮・コスト削減にもつながる「E-パネット工法」。その長所が大手ゼネコンや設計会社にも深く認識されはじめたこと、地道に実績を積み上げてきた現場の熱い支持が相まって、着実に受注を伸ばし、三五〇現場以上の実績を有することとなった。それが、採用面積三四、七〇〇㎡という平成二十一年の「東京国際空港国際線地区旅客ターミナルビル新築工事」につながった。海浜地帯、短工期、省力化工法という求められた高いハードルをクリアしたのである。

「地球環境を守り、産業廃棄物やCO<sub>2</sub>を削減できる型枠」であるという評価をいただき、平成二十二年に東京都が行った

「ジャパンベンチャーアワード」で奨励賞を受賞



東京都に弊社の「E-パネット」が認定されました!

「東京トリアル発注認定制度」の認定商品に「E-パネット」が選ばれました。これを契機に実績をもつ首都圏に限らず、全国的なネットワークの構築とパートナー企業づくりをおこなっていききたいと思っています」

お問い合わせは

日本環境製造株式会社

〒105-0013

東京都港区浜松町二丁目四番五号

松下ビル四階

TEL 03-5733-0011 (代表)

FAX 03-3436-0025

関連頁

▽分野別23頁 ▽倶楽部一頁46頁